

平成23年度政策・土木交通常任委員会における  
提言、意見等への対応状況について

1. 文化産業交流会館について

＜意見・提言＞

- ・文化産業交流会館は、県土の均衡ある発展を考える目的で建てられたもの。所期の目的どおりの利活用がされることを求める。
- ・施設も老朽化し、特にトイレなど維持管理上の問題について抜本的な対策をすべきである。

＜対応状況＞

- ・地域伝統芸能などの地域資源を活かした事業「近<sup>おうみ</sup>淡海の祭り」や優れた芸術の創造発信として、邦楽・邦舞の公演事業やキッズワークショップを企画するなど、県東北部における文化の拠点施設として特色ある取組を始めている。
- ・また、当会館にはSOHOビジネスオフィスがあり、商工観光労働部と連携し、起業家支援・発掘のためのビジネス・カフェの開催等、産業振興に努めている。
- ・トイレについては、現在、小便器取り替えや床下配管工事等の改修工事を実施しているところ。また、平成24年度においては、1階部分のカーペットの張替工事等を行う予定である。

2. びわ湖ホールの事業について

＜意見・提言＞

- ・県内の全ての子どもたちが、一度はびわ湖ホールで本物の芸術にふれ合うことができるような事業展開をお願いしたい。

＜対応状況＞

- ・本年度、小学生を対象とした音楽鑑賞公演を1日2公演で実施したところ、県内26小学校から2,614人の児童の参加があり、好評を博した。来年度は「ホールの子」事業として2日4公演に拡大して開催する予定である。
- ・なお、遠隔地からの参加を促すため、参加校に対しては交通費の2分の1を補助している。